



11/8（水）第 2 回実行委員会を開催しましたので、その内容について報告します。

1 開会あいさつ 代表 白壁 俊六

毎朝子ども達と楽しく登校させてもらっています。大きな事故もなく 7 年が過ぎました。

毎朝、あいさつの指導をしています。よく「10 歳の壁」と申します。低学年はほめて、高学年は認めて育てることが大事だと思います。

新聞で教職員の対応が原因による不登校が増えているという記事を読みました。大人の言葉ひとつ、行動ひとつで子どもの人生は大きく変わります。家庭と地域と学校が互いに連携する教育活動をこれからもすすめていきましょう。

2 9 月の学校評価について

○これまでの成果 心の教育 情報公開 楽しい学校

▲これからの課題 家庭学習 マナーと言葉づかい 話す力・聞く力
また「あいさつ」の評価が低いことがわかりました。

3 情報交換 ～学校評価の結果から「あいさつ」について～

- ・あいさつしてかえってこないときがある。
- ・気持ちはあるようだが、声に出せていない。
- ・親が知らない人にはあいさつしないように言っているのでは？
- ・あいさつをしない親もいる。(その子どももあいさつをしない)
- ・まずは親の言い聞かせが大切である。
- ・工事現場の人にあいさつをする子どもがいて、工事現場の人が嬉

しかったという話を聞いた。

- ・誰に対しても目を見てあいさつができるようにしたい。
- ・以前、あいさつ強調月間のとき名札にシールを貼ったことがあった。シールをもらうためにあいさつしている子どももいた。
- ・あいさつしたらご褒美がもらえるでは、心が育たない。
- ・シールやカード、強調月間、あいさつ通りをつくるなどは、一時的な効果で継続しない。あいさつができるよい子をほめ、小さい声しか出ない子にも声を出すように育てていくしかない。
- ・日水公園で、帰宅時間午後 5 時を守れていない子どもがいる。学校で再度指導するようお願いします。

3 謝辞（校長）

子どもが好きで、子どもが可愛くて集まっている私たちです。

これからもこの集まりを続けていきましょう。

互いに情報交換をすすめ、木風っ子たちのためにがんばりましょう。

今日は、ありがとうございました。

このあと参会者は第 2 回学校保健委員会講演会に参加して「子どもの対応」「ほめ方・認め方」等について研修を受けました。

木風っ子を支援隊実行委員（敬称略）

代表 白壁 俊六 学校評議員 柴崎 政忠 11 か町連絡協議会長 森岡 浩一

民生委員児童委員長 後藤 雅敏 民生委員児童委員 峯 夕美子

PTA 会長 大石 真功 PTA 副会長 池山 貴美

校長 佐藤 正実 教頭 高浜 錦哉 教務主任 早坂 英樹